

事業所自己評価の集計結果（公表）

公表：令和2年 9 月 1 日

事業所名：北海道こども発達研究センター

回収率：100%

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
			いずれかに○				
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	13	1	1	こども 1 人あたり、3.97 m ² を確保し、設備基 準の 2.4 倍のスペースを確保しています。	活動内容を工夫するなどし、更に適正なスペー スの活用を図ります。
	②	職員の配置数は適切であるか	14		1	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、児童指 導員、保育士、障害福祉サービス経験者を常時 適正数配置しています。	より充実したサービスを提供できるよう、引き 続き職員の適正配置に努めます。
	③	生活空間は本人にわかりやすく構造化され た環境になっているか。また、障がいの特 性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされて いるか	15			児童デイサービスの提供を目的として設計・建 築されており、建築にあたり石狩振興局に公共 的施設新築等工事届も提出しています。	利用者にとって使いやすい環境や設備を維持で きるよう努めます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、こども達の活動 に合わせた空間となっているか	15			室内及び訓練道具、遊具などの清掃管理を徹底 しています。また整理整頓による分かりやすい 室内環境に努めています。	感染対策として、丁寧な衛生管理を引き続き実 施します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル （目標設定と振り返り）に、広く職員が参 画しているか	13	1	1	職員間で都度話し合いを実施し、業務の改善を 行っています。	非常勤職員の参画について、引き続き取り組み ます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対 して事業所の評価を実施するとともに、保 護者等の意向等を把握し、業務改善につな げているか	9		6	今回が事業開始後初回評価となり、適正に実施 しています。	今回の評価表の結果を業務改善に活用いたしま す。

適切な支援の提供	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	7	今回が事業開始後初回評価となり、適正に実施しています。(公表：令和2年9月1日)	今後も継続して評価結果を公表します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2	6	利用児のご家族や外部連携機関の方の意見を業務改善につなげています。	今後、より一層の外部評価の実施について検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14		1	職員向けの学習会を企画実施しています。	コロナウイルス感染症対策のため活動規模や頻度が縮小されているため、衛生管理に配慮した形態について検討します。
	⑩	アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	15			保護者からの情報を基に支援会議を実施し、個別・集団における課題を分析したうえで計画作成を行っています。	今後も丁寧にニーズの把握と支援計画の作成を行います。
	⑪	こどもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12		3	評価ツールを使用することで評価・再評価期間を適切に設けています。	非正規職員も情報を適正に把握するための業務システムについて検討します。
	⑫	支援計画には、ガイドラインの「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15			ガイドラインに基づき、具体的な支援内容を適切に設定しています。	ガイドラインを共有するとともに、支援内容を充実できるよう取り組みます。
	⑬	発達支援計画に沿った支援が行われているか	15			職員が支援計画を共有し、内容に沿った支援を実施しています。	全職員が支援計画を確認し理解できるよう努めます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14		1	職員間で話し合いをしながらプログラムの立案を行っています。	支援会議を通じてプログラムの立案を実施しているので、現在のシステムを継続運用します。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13		2	季節に応じて様々なプログラムの提供が行えるよう職員間で意見交換を行い、プログラムを実施しています。	季節毎のプログラムを実施しているので、文化を大切にしたい取り組みを継続します。
⑯	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	14		1	計画立案時から個別指導と集団活動の整合性をもたせながら、適時支援計画の作成と修正を行っています。	職員間の情報交換を密にし、引き続き個別指導と集団活動の整合性を保持した支援計画を作成します。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13		2	毎朝申し送りを実施し、利用児について必要な情報の共有や職員の役割について確認を行っています。	今後も引き続き申し送りによる情報の共有を実施します。	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12		3	適時支援内容の振り返りを行い、支援や業務の改善に努めています。	振り返りの内容を職員間で共有できるよう努めます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13		2	個別指導および全体活動について記録し、情報の共有と支援の検証・改善を行っています。	記録の内容について過不足なく行えるよう、記録の書き方についても適時検証を行います。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	15			6か月に1度のモニタリングと支援計画の見直しに加え、必要に応じて支援会議を実施して支援の見直しを行っています。	支援会議の内容を全職員が共有し支援に反映できるよう取り組みます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14		1	児童発達支援管理責任者や、こどもの状況をよく把握している職員が参画しています。	より多くの職員がサービス担当者会議に参加し、支援を充実できるよう取り組みます。
	㉒	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	15			関係機関と連携し、情報の共有と支援を行っています。	今後も積極的に関係機関と連携して支援を行います。
	㉓	(医療的ケアが必要なこどもや重症心身障がいのあるこども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	15			必要に応じて情報の共有と支援を行っています。	今後も必要に応じ、適時情報の共有と連携した支援を行います。
	㉔	(医療的ケアが必要なこどもや重症心身障がいのあるこども等を支援している場合)こどもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	15			担当医の事業所訪問など、必要に応じて連携できる連絡体制を整えています。	今後も必要に応じ、主治医や協力医療機関との連絡体制を構築します。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	3	5	就学に向けた評価の共有など、必要に応じて情報の共有と支援会議を実施しています。	今後も必要に応じて情報の共有と支援会議を実施します。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		7	評価や支援の内容をまとめ、情報提供できるように取り組んでいます。	今後、学校との情報共有を強化し、より充実した支援を提供できるよう努めます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12		3	各機関と連携し情報を共有する他、各種研修会に積極的に参加しています。	引き続き各機関との連携を強化し、各種研修会にも積極的に参加します。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	5	4	6	認定こども園と連携し、障がいのないこどもの活動を見学させて頂いています。	交流のある各関係機関との繋がりを強化するとともに、新たな交流を広げられるよう取り組みます。

保護者への説明責任等	②⑨	自立支援協議会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	6	3	各種会議に積極的に参加しています。	今後も各種会議等に積極的に参加するよう努めます。
	③⑩	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14		1	連絡帳やLINE、個別面談などさまざまなツールを用いてこどもの状況を共有し、共通理解を持てるよう取り組んでいます。	今後もこどもの状況について丁寧に情報を共有し、発達状況や課題についての共通理解を持てるよう取り組みます。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	9		6	家族支援のための学習会を実施しています。また、希望に応じて個別指導の見学受入と指導内容の説明を行っています。	コロナウイルス感染症対策のため活動規模や頻度が縮小されているため、衛生管理に配慮した形態について検討いたします。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14		1	契約時や保護者からの質問があった際に丁寧な説明を行っています。	今後も丁寧な説明を行えるよう努めます。
	③⑬	ガイドラインの「発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得ているか	15			ガイドラインに基づき、具体的な支援内容を適切に設定するとともに、支援計画内容について適時保護者の同意を得ています。	支援計画の内容について、保護者が理解しやすいよう、より分かりやすい内容の記載に務めます。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14		1	定期的な個別面談に加え、個別相談があった際は必要な助言や支援を行っています。	個別面談や個別相談による対応を引き続き行います。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	5	4	こどもの支援体制を最優先としており本年度は支援活動について実施がありません。	職員の講師派遣など、各会の活動支援についての体制を検討いたします。
	③⑯	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14		1	苦情対応窓口を配置し相談内容について検討・検証を行い対応しています。	法人運営上の規定や内規に基づき、相談内容について引き続き誠実に対応いたします。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	6	2	7	法人ホームページにて活動概要などの発信を行っています。	更新頻度を高め、日常の活動や季節の行事、取り組みなどを発信できるようシステムの改善に取り組みます。
③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13		2	記録データは事業所内のみで管理し、事業所外からアクセスできないようシステムを構築しています。	連絡帳や製作物の取り違いを生じないように、業務システムの改善に取り組みます。	
③⑲	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14		1	各家庭の状況や利用児の特性に配慮した情報伝達を行っています。また、必要に応じて相談支援員とも連携して情報の共有と伝達を行っています。	特別な配慮が必要な場合について、引き続き丁寧な関わりを提供するよう取り組みます。	

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	8	事業所内覧会を実施している他、各種学習会の開催、研修会講師の派遣も実施しています。	地域の方により広く知っていただけるよう、情報公開に取り組みます。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14		1	各マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしています。	ホームページを活用するなどして保護者への周知に努めます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13		2	自衛消防訓練を実施しています。	ホームページを活用するなどして実施時期や概要等が利用者家族や関係者に伝わるよう努めます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	15			保護者からの聞き取り内容を全職員に周知すると共に、必要なケースについては対応マニュアルを作成しています。	定期的に情報の更新を行うと共に、職員間での情報共有に努めます。
	④⑭	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11		4	保護者からの聞き取り内容を全職員に周知すると共に、キッチンに情報を掲示するなど個別に対応を行っています。	定期的に情報の更新を行うと共に、職員間での情報共有に努めます。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	5	事例報告書をファイリングして、いつでも閲覧できるようにしています。	インシデント・アクシデントについて報告レベルの段階付けや積極的な情報の共有に今後取り組みます。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		7	各研修会への参加と講習資料の共有を行い、全職員への周知を行っています。また、監視カメラの運用によりリスク管理に努めています。	引き続き研修機会の確保と情報の共有を諮ります。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	1	5	どのような事例が身体拘束になるのかについてガイドラインを活用して対応しています。	適応事例はありませんが、今後必要に応じて適切に対応いたします。